

1	(1)	92	(2)	350	(3)	50	(4)	90
	(5)	179	(6)	184	(7)	97 (cm)	(8)	8 (dL)
	(9)	⊕	(10)	(午前) 5 (時) 15 (分)	(11)	14 (日前)	(12)	40 (本)

2	(1)	52	(2)	79
---	-----	----	-----	----

3	(1)	60 まい	(2)	24 まい
---	-----	-------	-----	-------

4	(1)	3 とおり	(2)	5 とおり
---	-----	-------	-----	-------

5	(1)	886 円	(2)	10 まい
---	-----	-------	-----	-------

6	(1)	22 cm	(2)	40 cm
---	-----	-------	-----	-------

- 1 (5)  $600 - 421 = \underline{179}$
- (6)  $203 - 19 = \underline{184}$
- (7)  $1\text{ m } 7\text{ cm} = 107\text{ cm}$      $100\text{ mm} = 10\text{ cm}$   
 $107 - 10 = \underline{97}$  (cm)
- (8)  $1\text{ L} = 10\text{ dL}$      $200\text{ mL} = 2\text{ dL}$   
 $10 - 2 = \underline{8}$  dL
- (9)  $\text{ア} > \text{イ} > \text{ウ}$ で、 $\text{ア} + \text{イ} = \text{ウ} + \text{エ}$ になるのは、重い方から1, 4番目と2, 3番目の組み合わせのみ。  
 $\text{ア}$ ,  $\text{イ}$ を重い方から1, 4番目にはできないので、これが重い方から2, 3番目。  
 よって、いちばん重いおもりは $\text{エ}$ 。
- (10) 短針は5と6の間, 長針はま横(右)で, 15分。  
 よって午前5時15分。
- (11)  $11 + 30 = 41$  (日)  
 7月11日 = 6月41日  
 $41 - 27 = \underline{14}$  (日前)
- (12) 右の図のようにたて・よこに分けて数える。たてとよこの本数は同じになる。  
 $4 \times 5 = 20$  (本) … たて  
 $20 \times 2 = \underline{40}$  (本)

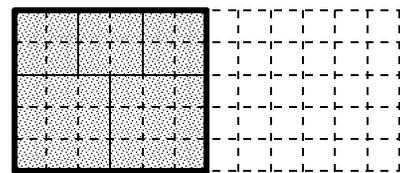
- 2 (1) ①                  ②                  ③                  ④  
 $1, 100, /2, 99, /3, 98, /4, 97, / \dots$   
 各セットの和は101。□は49セットの2つ目。  
 49セットの1つ目は49なので,  
 $101 - 49 = \underline{52}$
- (2)  $44 = 22 + 22$ より, 22セットの2つ目。  
 22セットの1つ目は22なので,  
 $101 - 22 = \underline{79}$

- 3 (1) あつき君は, コインの半分をわたして, のこりが30まい。よってわたしたコインも30まいで, もとは,  $30 + 30 = \underline{60}$  (まい)
- (2) かずや君は, コインを30まいもらって, 24まいわたしてのこりが30まい。  
 もとは,  $30 + 24 - 30 = \underline{24}$  (まい)

- 4 (1)  $\text{ア} > \text{イ} < \text{ウ} < \text{エ} \rightarrow \text{ア} > 1 < \text{イ} < \text{ウ}$   
 $\text{ア}$ が2, 3, 4のとき, 右の $\text{イ} < \text{ウ}$ の部分がそれぞれ1とおりにある。  
 よって, 合計3とおりにある。
- (2)  $\text{イ} > \text{ウ} < \text{エ} > \text{オ}$   
 $\rightarrow \text{イ} > 1 < \text{ウ} > \text{エ}$ か,  $\text{ウ} > 2 < \text{エ} > \text{オ}$   
 $\text{イ}$ が2, 3, 4のとき, 右の $\text{ウ} > \text{エ}$ の部分がそれぞれ1とおりにある。  
 $\text{ウ}$ が3, 4のとき, 右の $\text{ウ} > \text{エ}$ の部分がそれぞれ1とおりにある。  
 よって, 合計5とおりにある。

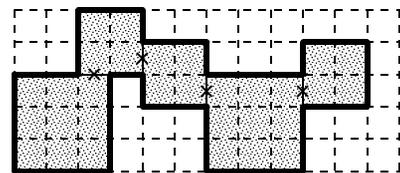
- 5 (1)  $100 \times 2 = 200$  (円)  
 $50 \times 10 = 500$  (円)  
 $10 \times 16 = 160$  (円)  
 $1 \times 26 = 26$  (円)  
 $200 + 500 + 160 + 26 = \underline{886}$  (円)
- (2)  $886 = 800 + 80 + 6$   
 $\rightarrow 500 + 100 + 100 + 100$   
 $+ 50 + 10 + 10 + 10$   
 $+ 5 + 1$   
 よって, 10まい。

- 6 (1) 正方形に近い長方形になるように図形をならべる。



$$5 + 5 + 6 + 6 = \underline{22} \text{ (cm)}$$

- (2)  $3 \times 4 = 12$  (cm)     $2 \times 4 = 8$  (cm)  
 $12 \times 2 = 24$  (cm)     $8 \times 3 = 24$  (cm)  
 $24 + 24 = 48$  (cm)  
 …ばらばらのときのまわりの長さの合計



上の図のように, 図形どうしが×のところで1cmずつつながるようにすればよい。これ以外にもつながり方は考えられる。×のつながり1か所につき $1 \times 2 = 2$  (cm)ずつ, 全部で $2 \times 4 = 8$  (cm)へるので, 図の太線の長さは,  $48 - 8 = \underline{40}$  (cm)もちろん, 図形が正しければまわりの長さを数えて出してもかまわない。

(配点) ① ; 各5点×12    他 ; 各4点×10